

心の通った温かい街づくりの推進  
～みんなが愛せる足立区を創造～

足立区議会議員



勇気と情熱

しかはま昭



平成24年度 第二回 定例会 6/12～6/29

## 1) 防災・減災・発災後の対策

平成 24.25.26.27 年(4カ年計画)で事業展開。

\*環七から南側地域 危険度が高い住居が多い(木造・耐震度低い)→対策

\*夜間時の発災を想定→避難場所である公園・児童遊園(区内296箇所)の電燈を、ソーラー(LED)照明に変える。

\*下水管の強い所に災害緊急トイレを設置(50か所に井戸を掘る)

\*首都直下地震等による足立区の被害想定(平成 24 年 4 月 18 日都庁公表)

(東京湾北部を震源としたマグニチュード 7.3 とした場合 前回 H18年との比較)

全壊家屋→16, 701件から10, 082件(▲6, 619件)

人的被害(死者)→366人から712人(約倍増)

(負傷者)→10,821 人から 11,759 人

・津波→河川敷等で一部浸水の恐れがあるものの、建物の倒壊や死者などの被害は生じない。

・ライフライン→停電率 24.3%

上記の公表により、足立区でも耐震診断申し込みが、4・5月で236件受付。(昨年の約 67%)

\*財源は、特別区民税均等割りの税率の引き上げ

現在3, 000円→3, 500円(H26年から H35年の10年間)

対象は300, 000人 年間/1億5千万円 X10年 合計15億円の財源確保

\*H24・25年度は、財政調整基金から取り崩し、財源に充てる。

## 2) 生活環境調整担当課の設置

\*ごみ屋敷問題の解決(現在 46 件)

現在までは、「樹木がはみ出ている・ごみの匂い」に対する条例しかなく、樹木は伐採し、

ごみはかたづけして終了していた。(再発してしまう)

衛生活環境適正対策会議の立ち上げ→46 件+ α 対象

案件は秋に提出し、議会で話し合い。

特徴としては、助成(上限 10 万円)・審議会(プライバシー・財産権など)の設置・ライフライン事業者との連絡会(生活困窮に伴う餓死の問題等協議し、協定を結ぶ)

《裏面に続く》

## しかはま昭 プロフィール

昭和31年12月21日生まれ 区立鹿浜小学校・鹿浜中学校・都立江北高校・法政大学経営学部卒

北鹿浜小学校元PTA会長・元足立区青少年委員・防災士・開かれた学校協議会委員

平成23年5月 足立区議会議員 初当選

平成24年度 自民党足立区議団 副幹事長

産業環境委員会 副委員長・災害オウム対策調査特別委員会

E-mail:

しかはま昭後援会事務所

URL : <http://a-shikahama.jp> (しかはま昭 検索)

〒123-0864 東京都足立区鹿浜6-26-12

TEL/FAX 03-3857-5050

- \*押部町会内 2件
- 鹿浜東町会内 1件
- 皿沼町会内 1件

### 3) ビューティフルウィンドウズ運動の今後の展開

\*H20年からH23年にかけて年二回実施結果から一定の効果が出ている。

ごみのポイ捨て→89%減

路上喫煙者→93%減

H24/1月～4月迄で2,810件(昨年比405件減)

しかし、自転車盗難は、3%減に留まっている→愛錠ロック大作戦(駐輪場に停めてある無施錠の自転車に区でおおきな鍵を付ける作戦をとります。(6月25日より随時実施しています。)

\*今年の目標は、刑法犯認知件数を10,000件以下にし、都内ワースト1からの脱却。

### 4) その他

\*自転車駐車場の増設

谷在家駅 自転車駐車場 増設 (90台分)

西新井大師西駅(上沼田東公園内)第四自転車駐車場 増設 (130台分)

\*はるかぜ11号(堀之内・椿循環)が、10月より「堀之内一丁目バス停」から博慈会記念病院(終始発)に路線延長が決定しました。(新たにバス停5か所)

\*子供育成会が主に行っている廃品回収の資源ごみを盗まれている事実を委員会で報告したところ、行政側でパトロールをしていただく約束をしました。

\*高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の助成制度始まりました。

(65歳以上の区民・60～64歳の障がい手帳1級相当の区民)

H24.4.1より接種費用の一部が助成されます。(4,000円上限)一度限り

肺炎は、がん(約31%)・心臓(約15.5%)・脳(約13.2%)に次いで4番目(約8.9%)の死亡原因になっています。

一度接種しますと、5年後でも約80%の効用が残っています。(副作用は殆どなく、インフルエンザと同様)

\*生活保護不正受給者の対応は、足立区としても喫緊の課題です。今年度より、生活保護・高齢者生きがい対策特別委員会を設置しました。

今後の動向にご注目ください。

一人ひとりの国民の皆さんが持続可能な社会を目指す精神が必要です。

< 自助 >

まずは自分で頑張る

< 共助 >

家族や地域の助け合い

< 公助 >

行政の援助

日々の活動報告をホームページで配信しています!!

どうぞ、ご覧ください!!